

第51回 理論応用力学講演会概要のご案内

開催日 2002年1月22日(火)~24日(木)

会場 日本学術会議 [東京都港区六本木7-22-34, 電話03-3403-6291]

交通 地下鉄千代田線「乃木坂」駅 番出口徒歩1分

開催要項

・挨拶 [1月22日(火) 13:00~13:10]

日本学術会議メカニクス・構造研究連絡委員会

理論・応用力学専門委員会委員長

神部 勉

第51回理論応用力学講演会運営委員長

上谷宏二

・研究発表

特別講演

1月22日(火) 13:10~14:10

CFDによる建築・都市の環境デザイン 村上周三(慶応大)

1月23日(水) 13:00~14:00

地球シミュレータと大気海洋変動の予測 松野太郎(地球フロンティア研究システム)

パネルディスカッション

1月22日(火)14:10~18:10

PD1. 有明海の環境システムを考える(沿岸環境関連学会連絡協議会企画)

モデレータ: 灘岡和夫(東工大)

パネリスト: 灘岡和夫(東工大), 磯部雅彦(東大), 中田英昭(長崎大), 滝川清(熊本大),
柳 哲雄(九大), 経塚雄策(九大)

1月22日(水)14:10~16:40

PD2. 構造物の安全性能評価とシステム同定・ヘルスマニタリング

モデレータ: 源栄正人(東北大), 大井謙一(東大)

パネリスト: 和田 章(東工大), 西谷 章(早大), 北川良和(慶応大), 佐藤忠信(京大),
山本鎮男(早大)

1月24日(木)13:00~15:30

PD3. 計算力学の将来(計算力学専門委員会企画)

モデレータ: 矢川元基(東大), 谷口伸行(東大)

パネリスト: 奥田洋司(東大), 谷 啓二(地球シミュレータ研究開発センター), 菅野純夫(東大),
関口智嗣(産技研)

1月24日(水)13:00~15:30

PD4. 不均質流体のレオロジー

モデレータ: 増子徹(山形大)

パネリスト: 堀米 操(大日本インキ工業), 山縣 義文(ライオン), 井上 明夫(旭化成),
谷下 一夫(慶応大), 高橋良彰(名大)

オーガナイズドセッション 250題(内 基調講演2題)

テーマ(一般講演数)/オーガナイザ

OS1. 計算力学における数値シミュレーション手法の新展開(15題)

中村正彰(日大), 加古孝(電気通信大), 菊地文雄(東大)

OS2. 工学・物理に現れる逆問題の解の構成と数値解析(13題)

磯祐介(京大), 今井仁司(徳島大)

OS3. 乱れの構造と特異性(7題)

藤定義(京大), 高岡正憲(同大)

OS4. 表面・界面の流体力学(11題)

古閑二郎(埼玉大), 吉永隆夫(阪大), 村上洋一(阪府大)

OS5. 流力・熱・非線形音響の諸問題(8題)

加藤千幸(東大生研), 琵琶哲志(名大), 杉本信正(阪大)

OS6. 乱流混合と化学反応(5題)

酒井康彦(名大), 小森悟(京大)

OS7. 成層・回転流体の力学(7題)

中林功一(名工大), 宮寄武(電通大)

OS8. 機械工学における固体力学研究の拡がり(18題)

渡辺一実(山形大), 小林秀敏(室蘭工大), 才本秀明(長崎大), 琵琶志朗(名大)

OS9. 破壊現象のメソスコピック・ダイナミクス(11題)

北川浩(阪大), 澁谷陽二(阪大), 志澤一之(慶応大)

OS10. スマート構造(15題)

北川良和(慶応大), 藤田隆史(東大生研), 和田章(東工大)

OS11. 構造および形態の最適化(15題)

大崎純(京大), 藤井大地(東大), 吉川暢宏(東大生研)

OS12. 化学プロセス・ダイナミクスの現象・解析・応用(13題)

大森隆夫(産業技術総合研究所), 大村直人(神戸大)

OS13. 構造物の設計と逆問題(10題)

竹脇出(京大), 辻聖晃(京工繊大)

OS14. ハイパフォーマンスコンピューティング(8題)

樫山和男(中大), 奥田洋司(東大)

OS15. 生体材料・生体組織のバイオメカニクス(10題)

村上輝夫(九大)

OS16. 構造物の臨界挙動解析における摂動法の応用(3題)

森迫清貴(京工繊大), 多田元英(阪大)

OS17. カオスの物理とその応用(12題)

船越満明(京大), 藤坂博一(京大)

OS18. 高分子成形加工における計算機工学(11題)

梶原稔尚(九工大)

OS19. 振動・波動と先端非破壊評価(24題)

廣瀬壮一(東工大), 山中一司(東北大)

OS20. 複合材料の力学特性(9題)

高雄善裕(九大)

OS21. Bluff Body の空力問題とその解決のための新技術(25題)

田村幸雄(東京工芸大)

一般セッション 58題(固体, 流体, 数値解析など)

ホームページ 本講演会に関する詳細・最新情報は、<http://news-sv.aij.or.jp/nctam/> に掲載。

参加申込方法 会期中、会場にて参加申込を受付けます。直接ご来場下さい。

参加費 無料

講演論文集 当日会場にて有料にて頒布いたします。

事務局 (社)日本建築学会 研究事業部(担当: 鎌田, 大野)

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL: 03-3456-2057, FAX: 03-3456-2058

E-mail: NCTAM@aij.or.jp

日本機械学会関西支部ウィークエンド・セミナー2001 21世紀を支える機械技術のご案内

協賛: 情報通信学会、エネルギー資源学会、日本ガスタービン学会、可視化情報学会、計測自動制御学会関西支部、精密工学会関西支部、システム制御情報学会、日本金属学会関西支部、日本計算工学会、日本材料学会関西支部、日本数値流体力学会、日本塑性加工学会関西支部、日本船舶機関学会、化学工学関西支部、日本化学会、日本造船学会、日本冷凍空調学会、日本燃焼学会、廃棄

物学会、日本鉄鋼協会関西支部、ターボ機械協会、自動車技術会関西支部、滋賀工業会、京都工業会、奈良工業会、大阪工業会、兵庫工業会

開催日： 2001年11月30日(金) 9:15~17:05

会場： 建設交流館8階 グリーンホール

大阪市西区立売堀2-1-2 電話(06)6543-2551 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、南側23番出口より中央通りを西へ300m、なにわ筋交差点を南へ50m、西側黒い8階建てビル

趣旨： 21世紀の幕が切って落とされ、機械技術、機械技術者にも新しい世紀に対応する新技術や能力が求められています。高度情報社会がさらに進み利便さのみがもてはやされた時代から地球規模にわたる環境、エネルギー、経済の3E問題の解決が必須となっております。ものづくりの原点に立ちかえり高度情報社会となる新しい時代に望まれる新製品や革新技術について広く講演題目を取り上げました。基調講演では、社会情勢や関連技術の変化を踏まえて21世紀に期待される機械技術やそれを取り巻く技術についてお話をいただく予定です。21世紀に広く用いられることが予想される新製品・新技術やIT技術についても取り上げ開発のねらい、成功のかぎを語っていただくことにしました。会員以外の方も幅広くご参加下さい。

9:15~9:25 開会挨拶 日本機械学会関西支部 支部長 浅田忠敬(日立造船(株)技監)

9:25~10:25 [基調講演] リスクマネジメントからみた21世紀の機械技術のあり方
関西大学教授 工学部機械工学科 小澤守

10:30~11:20 ナノテクノロジー最先端 大阪大学教授 産業科学研究所 川合知二

11:25~12:15 設計による知の創発
大阪大学大学院教授 工学研究科 知能・機能創成工学専攻 浅田 稔

13:15~14:05 NEDOの新エネルギー技術開発の現状と今後の展望
新エネルギー・産業技術総合開発機構 企画調整部 福水健文

14:10~15:00 インターネット・Java技術を利用した遠隔監視システムの最新動向
(株)山武 製品開発本部 橋向博昭

15:15~16:05 燃料電池技術および燃料電池自動車の開発動向について
マツダ(株) 技術研究所 高森勇治

16:10~17:00 最新の廃棄物処理における施設と技術
日立造船(株) 環境プラント事業本部 中井誠一

17:00~17:05 閉会挨拶 日本機械学会関西支部 副支部長 鈴木健二郎
(京都大学教授 大学院工学研究科 大型計算機センター長)

定員： 300名

申込締切： 11月22日(木)(定員に余裕があれば、当日まで申込みを受け付けます)

聴講料： 会員10,000円、会員外20,000円、学生員1,000円、会員外学生2,000円
協賛学協会員の方も本会員と同様にお取り扱いいたします。
聴講料は当日会場にてお支払い下さい。

申込方法： 任意の用紙に「ウィークエンド・セミナー2001申込み」と題記し、(1)氏名・会員資格、(2)勤務先・所属部課名・住所、(3)通信先、(4)所属学協会名を明記のうえ、関西支部宛お申込み下さい(FAX、E-mail可)。折り返し聴講券をお送りしますので当日必ずご持参ください。関西支部ホームページ(<http://www.jsme.or.jp/ks/>)より申込みができますのでご利用下さい。詳細申込み方法はホームページをご覧ください。

申し込み先：(社)日本機械学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内

TEL:06-6443-2073 FAX:06-6443-6049 E-mail: jsme@soleil.ocn.ne.jp

社団法人 自動車技術会 No.14-01 シンポジウム「CFD ソフト・ハードの性能比較」のご案内

CFD ソフト・ハードの性能比較参加者募集

14-01 シンポジウム CFD ソフト・ハードの性能比較

問合せ先：事務局技術・交流グループ 小峰・石山 Tel.03-3262-8214 Fax.03-3261-2204

【URL】 <http://www.jsae.or.jp/> E-mail: komine@jsae.or.jp

会期：2001年12月10日(月)～11日(火)

会場：工学院大学(新宿校舎)新宿区西新宿1-24-2 会場案内図は、ホームページをご参照下さい。

主催：(社)自動車技術会 (企画)CFD 技術専門委員会・流体技術専門委員会・車室内環境技術専門委員会・伝熱技術専門委員会

協賛：(社)可視化情報学会・(社)日本機械学会・日本計算工学会・日本シミュレーション学会・日本数値流体力学会 日本風工学会

定員：200名

参加費(消費税・テキスト一冊込)：

定価31,500円 正・準会員15,750円 学生会員 3,150円 賛助会員 22,050円 協賛学協会の会員 22,050円 テキストのみの販売もしております。

定価 3,675円(本体3,500円・送料別) 会員価格 2,940円(本体2,800円・送料別)

申込先：Fax.またはE-mail にてお申込み下さい。なお、テキストの発送はシンポジウム終了後となります。

Fax:03-3261-2204 E-mail:book@jsae.or.jp

申込方法：会誌2001年10月号に綴込まれているシンポジウム参加申込書(郵便払込取扱票)をご利用下さい。なお、参加券は2001年11月下旬に発送致します。インターネットから直接申込み事も出来ます。

申込締切日：2001年11月26日(月) 申込締切日以降も空席がある場合は受付ます。

申込のキャンセル：申込締切日以前：送金手数料を除き返金します。

11月27日(火)以降：返金しません。

参加のおすすめ

汎用CFD ソフトウェアが工学設計に必須のツールとなり、それらの機能・信頼性を把握した最適活用が求められています。本シンポジウムではCFD ベンダ各社のご協力をいただき、自動車設計への応用を想定したベンチマーク課題の解析データを基にCFD の効果と信頼性を具体的に議論します。自動車設計、CFD 技術に限らず、広く多数のご関心とご参加を歓迎致します。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

CFD 技術専門委員会委員長 谷口伸行 流体技術専門委員会委員長 鬼頭幸三

車室内環境技術専門委員会委員長 郡 逸平 伝熱技術専門委員会委員長 松井幸雄

委員長 谷口伸行 幹事 浅野秀夫 幹事 森吉泰生

プログラム

～ 第1日：12月10日(月)～

司会：池田和外氏(ダイハツ工業(株)技術開発部)

9:30 開会の挨拶 CFD 技術専門委員会委員長 東京大学生産技術研究所 谷口伸行氏

9:35 空力検証 PPT ディスカッション 東京大学インテリジェントモデリングラボラトリー 小野謙二氏

12:05 ～13:05 昼休み

13:05 課題報告 千葉大学工学部 森吉泰生氏

14:15 ～14:30 休憩

14:30 エンジン+自動格子検証 PPT ディスカッション トヨタ自動車(株)第1FP 部 山田敏生氏

17:00 閉会

～ 第2日～

司会：浅野秀夫氏(株)デンソー冷暖房事業部)

9:30 空調基礎検証 PPT ディスカッション 富士重工業(株)CAE グループ 小森谷徹氏

12:00 ～13:00 昼休み

13:00 課題報告 東京大学生産技術研究所 谷口伸行氏

14:10 ～14:30 休憩

14:30 空調Def +自動格子+可視化処理検証 PPT ディスカッション

